

第3回ディペンダビリティに関する 定期意見交換会

2016. 4. 12

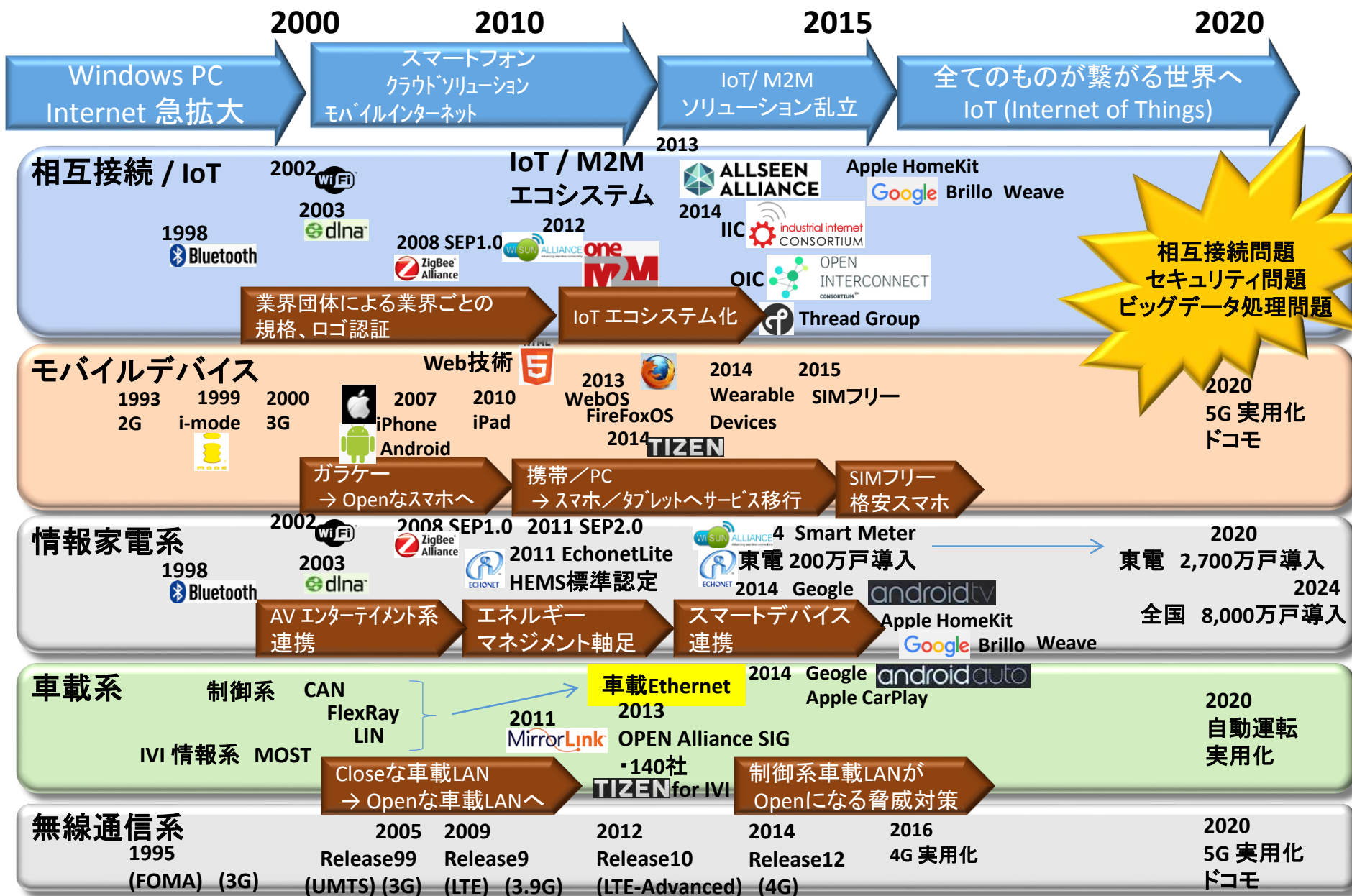
YRP研究開発推進協会会長

甕 昭男

Agenda

1. WSN協議会の活動
 - (1)IoTに関するグローバル動向
 - (2)協議会における認証
2. WTP2016 全体開催趣旨

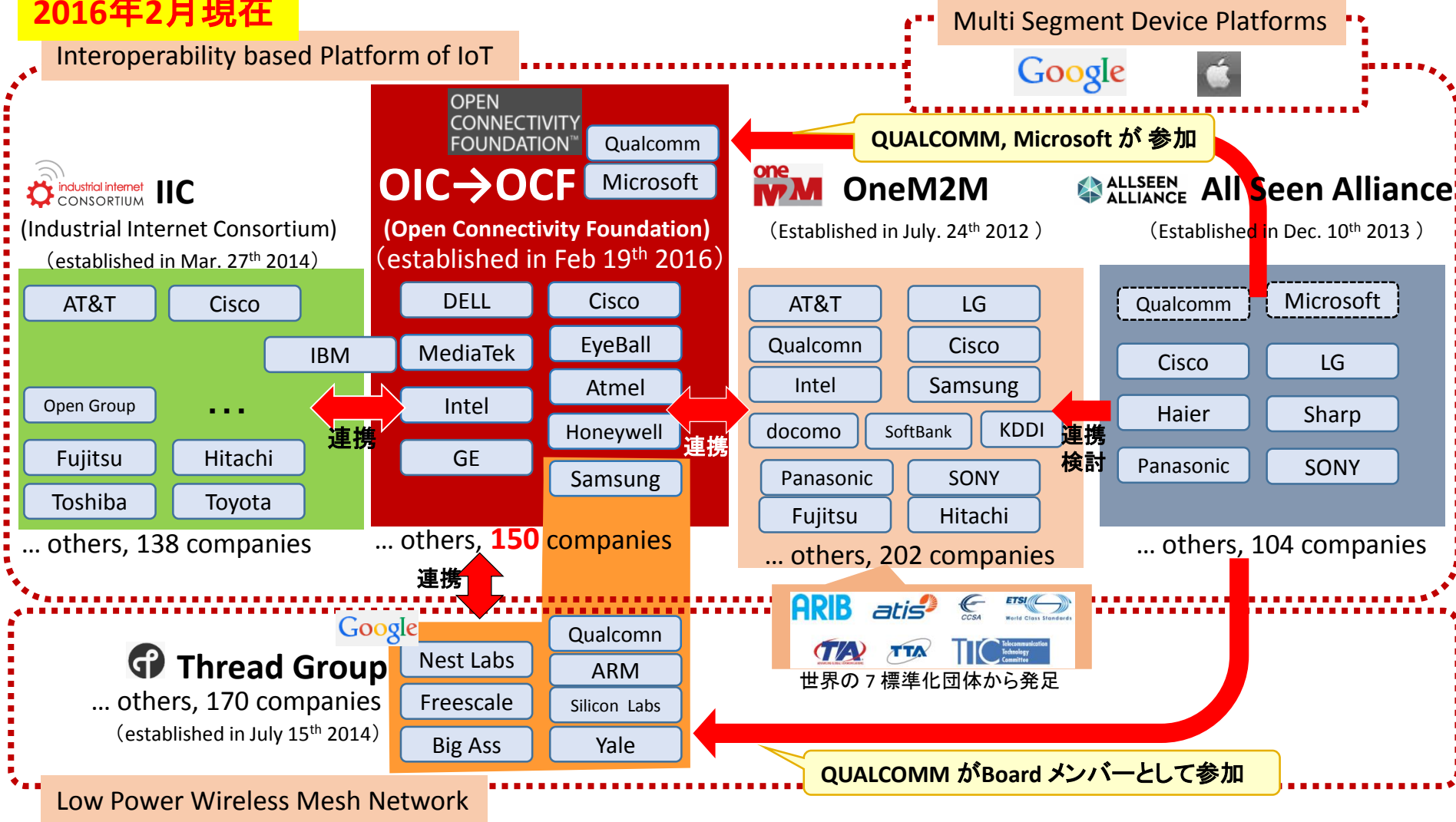
Global 市場における関連業界動向



IoT(Internet of Things)に関するグローバル動向(戦国時代) OICからOCF(Open Connectivity Foundation)へ

OICと競合していたQualcomm、Microsoftが OICへ参加し、OCF へ移行

2016年2月現在



ワイヤレススマートユーティリティネットワーク利用促進協議会 (WSN協議会)



ワイヤレススマートユーティリティネットワーク利用促進協議会 (WSN協議会) は、Wi-SUN技術の利用を促進し、我が国のICT産業の強化と国際的な研究開発連携の推進を図ることを目的に設立し、次のような活動を行います。

- ① NICTのソーシャルICT推進活動と連携した活動を行うとともに、会員のビジネス推進の活動を行う。
- ② Wi-SUNの利用促進分野は、NICTが構築した農業、防災、エネルギー、交通の実証環境に加え、他の社会・産業分野にも拡大する。
- ③ YRPをWi-SUN利用促進活動の拠点として形成していくための活動を行う。

WSN協議会の役割

認証機関等との連携を図りながら以下の役割を果たす。

① 業務アプリケーションプロファイル

Wi-SUN技術を利用した業務アプリケーションプロファイルの認証を対象とする。(当面) 認証した業務アプリケーションについては、認証機関に対して認証の事実公表を求める。

- ・NICTのクラウド基盤のインターフェース適合性認証
- ・センサーネットワークとしては、Wi-SUN Alliance認証を受けているものであること
- ・各種業務アプリケーションを含む総合試験がNICTの環境、又はNICTから技術移転を受けた者が提供する同等の環境において確認されていること

② Wi-SUN技術者の人材育成

- ・WSN協議会が公表するWi-SUN人材育成シラバスに基づいて作成された教育教材について認証すること
- ・Wi-SUN技術者の認証については、教育教材を持つ教育機関が実施した人材育成教材により教育を受け、合格と判定とされた者に対して認証すること

③ Wi-SUNテストベッド機能

- ・各種業務アプリケーションを含む総合試験を行う機能
- 当該機能は、NICT又はNICTから技術移転を受けた同等の環境であること

目指す WSN協議会の認証のコンセプト

WSN協議会では、将来的には、以下の3つの観点からの認証を考えるが、
当面 ① Wi-SUNアプリプロファイル認証 ② Wi-SUN技術者教育カリキュラム認証
からスタートする。 今後段階的に③を加えた認証に取り組む。

① アプリプロファイル 認証

認証基準
各レイヤのI/F
総合試験

② 教育カリキュラム 認証

認証基準
Wi-SUN技術者教育カリキュラム
Wi-SUN技術者認証

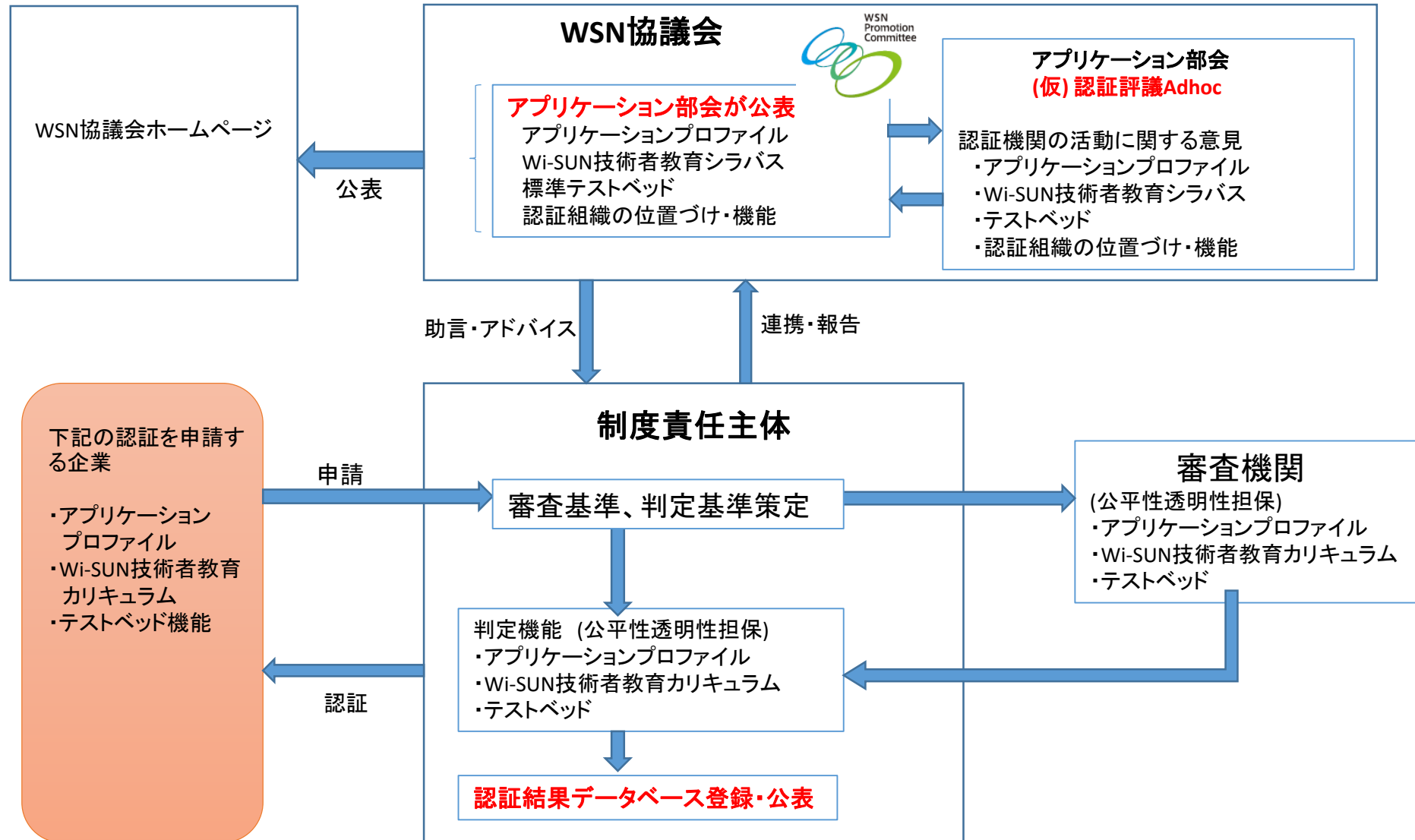
③ 安心・安全

認証基準
脆弱性対策
プライバシー対策

認証制度設計： IPA「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」

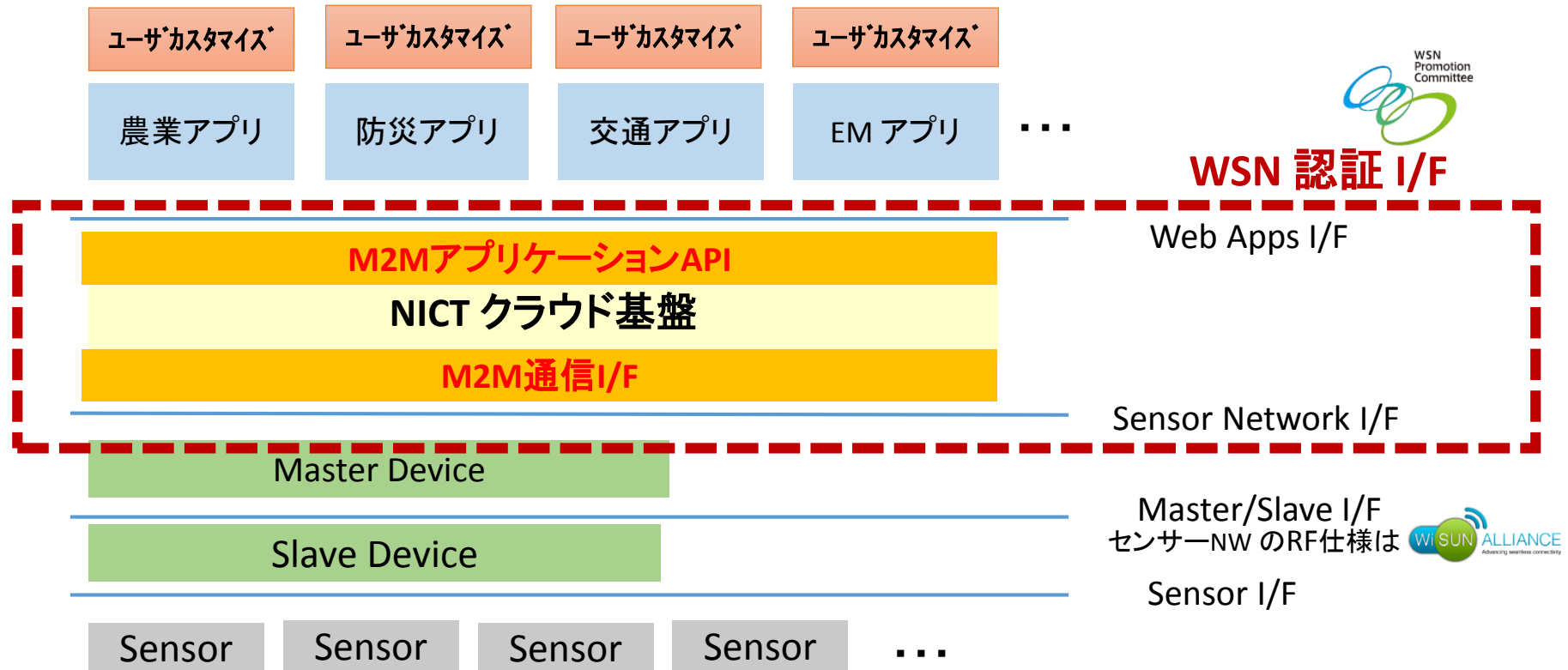
<http://www.ipa.go.jp/files/000029495.pdf>

認証機能におけるWSN協議会と認証主体との関係について



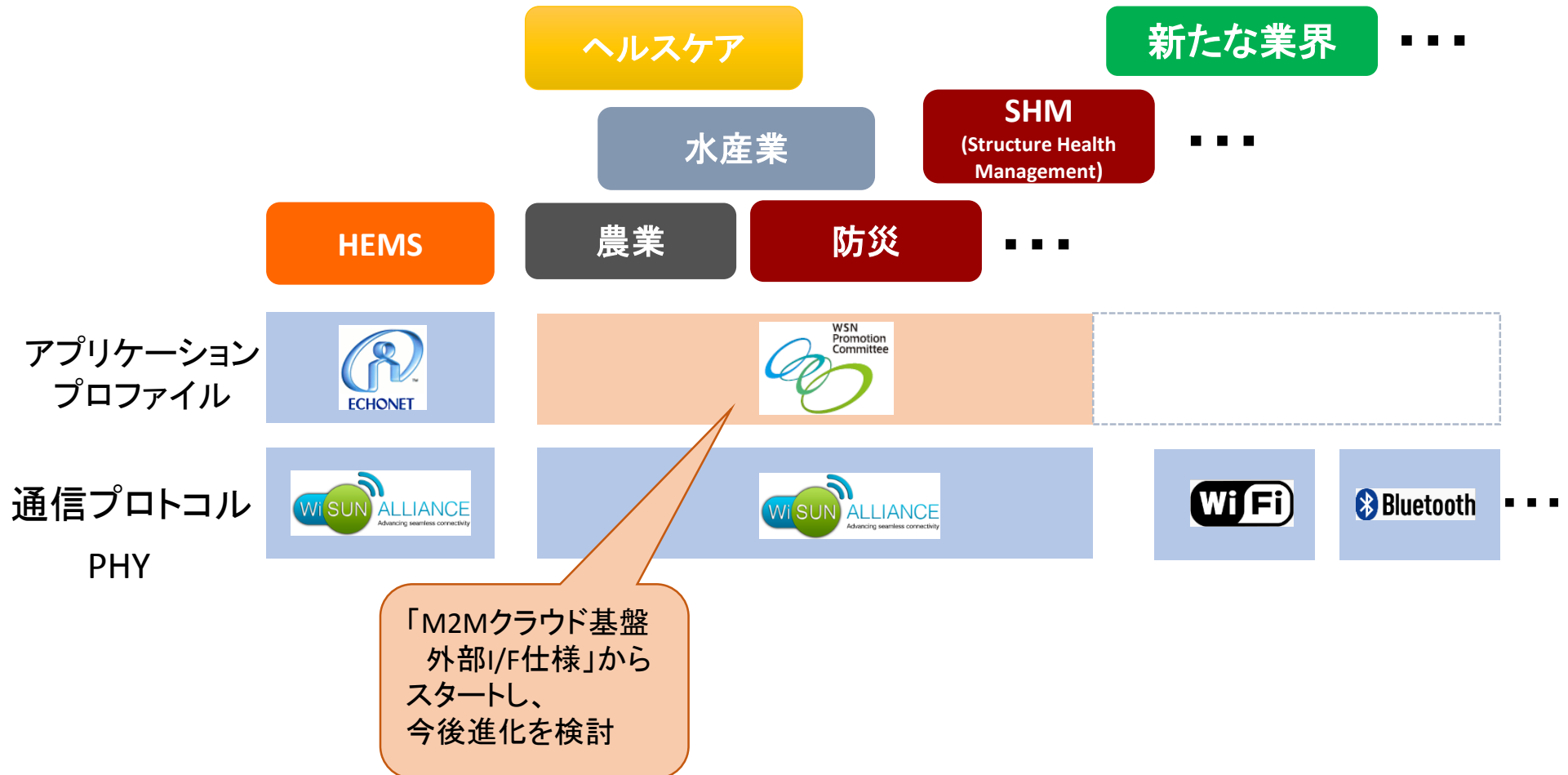
認証アーキテクチャ(点線部分)

NICT クラウド基盤を基本としたアーキテクチャ



アプリプロファイルの今後の展開

アプリケーションプロファイル認証としてWi-SUN Alliance と連携



WTP2016 全体開催趣旨

WTP2016 ワイヤレス・テクノロジー・パーク2016



日付：2016年5月25日(水)～27日(金)
時間：10:00～18:00(最終日は17:00まで)
会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

English



● メインテーマ

2020年に向けて世界一をめざすワイヤレス技術

● WTP2016注力テーマ

- ✓ 第5世代携帯電話システム(5G)
- ✓ **IoT&M2M & Wi-SUN**
- ✓ 測位(QZSS、屋内測位、位置情報利用)
- ✓ ITS(コネクティッドカー・自動安全走行)
- ✓ スマートタウン/スマートホーム
- ✓ 防災・減災への無線システムの応用
- ✓ 地域ICT、地方創生
- ✓ ロボット
- ✓ ワイヤレス電力伝送
- ✓ NFV(Network Function Virtualization)
- etc

